

作成者：佐々木めい

作成日：2025年12月2日

ご挨拶

こちらでは初雪が舞い、本格的な冬の寒さが訪れる季節となりました。最近は最高気温がマイナス1℃前後の日もあり、すでに福井の真冬のような気候です。日本から持参したウルトラライトダウンが早くも欠かせない存在になっています。

日本ではちょうど感染症が流行し始める時期かと思いますが、皆さまが変わらずお元気に過ごされていることを願っております。

感謝祭 (Thanksgiving) について

今月は、アメリカ文化の代表的な祝日である感謝祭 (Thanksgiving) に合わせて、約一週間の休暇がありました。感謝祭は約400年前、イギリスから移住したキリスト教徒 (ピルグリム) がネイティブアメリカンと収穫を祝い、感謝を捧げたことに由来しています。

現在では、一年の恵みや家族の健康に感謝しながら、家族や親しい人々が集まって食事を囲む、アメリカでも最も大切にされている祝日の一つです。

私はこの休暇中、ルームメイトの実家があるペンシルベニア州ピッツバーグに滞在しました。大学の寮とはまた違った「アメリカ家庭の日常」に触れることができ、文化理解の面でも非常に貴重な経験となりました。

感謝祭ディナーと食文化体験

感謝祭といえば、やはり欠かせないのが伝統的なディナーです。

メイン料理

- 七面鳥のロースト
- クランベリーソース
- Stuffing (七面鳥に角切りパンを詰めて焼いた伝統料理)

七面鳥のジューシーさとクランベリーソースの甘酸っぱさの組み合わせは、和食にはない独特の味わいでとても新鮮でした。

副菜

- マッシュポテト
- グレービーソース
- グリーンビーンキャセロール
- ヤム芋の甘露煮
- コーンブレッド

それぞれの料理が味や食感のバランスを生み出し、家族で長い時間をかけて調理し食卓を

囲むというアメリカらしい文化が強く感じられました。

中でも印象に残ったのは パースニップ（白いにんじん）です。日本ではあまり馴染みがなく、ハーブのような香りとほくほくした食感が特徴でした。ルームメイトの家庭ではこれを他の根菜と一緒にグリルして食べるのが伝統とのことで、新鮮な体験となりました。また、クランベリーソースと七面鳥の組み合わせも私にとって初めての組み合わせでしたがおいしかったです。



食後の習慣「Wish Bone」

七面鳥の鎖骨を 2 人で引っ張り合い、大きい方を取った人の願いごとが叶うとされる遊びです。今回は私が大きな部分を取ることができ、小さな幸運をもらえたようで嬉しい気持ちになりました。



ブロードウェイ『レ・ミゼラブル』鑑賞

休暇の 3 日目には、念願だったブロードウェイミュージカル『レ・ミゼラブル』を鑑賞しました。

劇中で使われる英語は歴史的背景を含む表現が多く、すべてを正確に理解することは難しかったものの、物語の基礎知識があったことで感情の流れや場面の意図を追うことはできました。

さらに今回の鑑賞は、語学学習という面でも大きな意義を感じました。すべての単語が聞き取れなくても、登場人物の感情・舞台の雰囲気から内容が補完されていく経験は、語学力が総合的に働いている感覚を実感させてくれましたし、フランス革命期の価値観や社会背景を舞台を通して感じることで、言語だけではなく歴史・文化理解も広がり、留学中ならではの大きな学びとなりました。異文化芸術が文化理解の窓口になる経験だったと思います。また、高校時代に覚えた劇中歌を、本場の劇場で実際に聴くことができた瞬間は胸が熱くなり、学びが時間を超えて自分自身の成長につながっていることを実感しました。

総じて、今回の鑑賞は語学面・文化面の双方で大きな刺激と学びがあり、留学生活の中でも特に印象的な出来事となりました。



オーロラ観察

11月12日、太陽フレアによる磁気嵐の影響で、通常であれば観察が難しい地域においてオーロラを目にすることができました。今回特に興味深かったのは、日本国内の報道と、こちらの現地メディアによる報道の視点の違いです。

日本のニュースでは、太陽フレアによる電力網や通信網への影響可能性が強調され、主要データのバックアップなど「備え」を促す内容が中心でした。一方、こちらの報道ではインフラ面への影響にも触れつつ、主な焦点は“太陽活動の活発化によって低緯度でもオーロラが観察できるチャンスが高まった”という点に置かれていました。科学的な現象を市民の興味につながる形で伝える報道姿勢が印象的でした。

実際、比較的低緯度に位置するこの地域でもオーロラ観測の可能性が高まったことから、私たちが星がよく見える場所へ観察に向かいました。前日が特に発光が強く、友人たちのSNSには空一面を覆う鮮やかな赤色のオーロラが多数投稿されていました。私たちが訪れた日はそこまで強い活動は見られなかったものの、夜空に淡い緑色の光が揺れる様子を実際に確認できました。

オーロラを見ることは私にとって人生の大きな目標の一つであり、今回その一部を達成できたことに深く感動しました。振り返ると、こうした体験は偶然の積み重ねと、ご縁によって訪れるものだと強く実感します。巡ってきたチャンスには極力ためらわずに挑戦することの大切さを、改めて学んだ出来事でした。



おわりに

11 月は文化的・学術的な体験が非常に多く、日常の学習を超えて視野が大きく広がった月となりました。偶然やご縁から得られた機会が多く、「巡ってきたチャンスに積極的に向き合うことの大切さ」を改めて感じました。

これらの経験を今後の学習や生活にも活かしていきたいと思います。

引用：

在日売国大使館と領事館/感謝祭 11 月第 4 木曜日 (2025/12/07)

<https://jp.usembassy.gov/ja/acj-holidays-thanksgiving/>

以上の文章につきまして、ご質問やご意見などございましたら下記メールアドレスまでご連絡ください。

sasakim@findlay.edu